



県勢初！全日本高等学校女子サッカー選手権大会 **優勝**

柳ヶ浦高校女子サッカー部



第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会の決勝が1月11日(日)に神戸ユニバー記念競技場で行われ、柳ヶ浦高校女子サッカー部が神村学園(鹿児島)に1-0で勝利。男女通じて県勢で初となる優勝を果たしました。



300人もの大応援団



決勝戦を前にした最後のミーティング



市役所でのパブリックビューイング

市民栄誉賞を授与へ



全日本高等学校女子サッカー選手権大会での優勝は、市民に夢と感動を届けました。この功績をたたえ、市は市民栄誉賞を贈りました。



諦めなかった 柳ヶ浦高校女子サッカー部

この優勝は、偶然ではない
柳ヶ浦高校女子サッカー部は、令和7年6月に行われたインターハイの出場権をかけた九州大会で神村学園に破れ、インターハイへの出場を逃しました。運動量の差を痛感し、走り勝つチームを作るためにフィジカル強化に取り組み「強豪が当たり前にこなすプレーを私たちは常に全力で」と雪辱を胸に練習に励んできました。

もっと強くなりたい
この大会の2カ月前からは、日頃の練習に加え、朝5時半に起きて練習をしてきました。授業をおろそかにすると練習がストップするので仲間と声を掛け合い、励まし合いながら厳しい日々を乗り越えたといいます。その毎日の努力やチームの結束力が、全国制覇の力となりました。

初の全国制覇へ
迎えた全日本高等学校女子サッカー選手権大会決勝では、4試合24得点を誇る強豪・神村学園の攻撃を封じ、見事悲願の初優勝を飾りました。仲間と励まし合い、支え合って重ねてきた日々は、ピッチの上で一つになりました。全5試合を戦い抜き、失点はわずか1点。個の力ではなく、全員で守り、全員で勝ち取った日本一でした。